

教育に関する方々に向けてお話ししました。

- ・ すばらしいお話でした。このアンケート用紙は主催者の元へかえるのですよね。講演者本人（だけ）に届く「コミュニケーションカード」のような紙があれば、いろいろとお伝えしたい感想はたくさんもちました（教職員）
- ・ 「ものすごい方だ」と思いました。「暴力をふるう人＝加害者」の立場に共感している藤木さんがご自分がすさまじい暴力の被害者だったということで、それを自分の力で乗り越え、人間不信を乗り越え、人とのつながりに信頼して人を支えていくというお仕事をされているということです。専門家でなくその人と信頼関係を築く、「見守る人になる」ということばが私にとってとても大きなキーワードになりました。その人の「立場に立つ」ということだと思いました。「心の病」も他人事ではないのです。じっくり話し合うということも大切にしたいと思います。本当にお話をお聞きできてよかったです。ありがとうございました。（教職員）
- ・ すさまじい生き方をされてきた上でのお話を淡々とされる中に大きな愛と強さを感じ勇気づけられました。不登校の子どもに、見捨てないよというメッセージをどれだけ出せるか。優しく見守るだけでは前に進まないことも思われました。そばで寄り添うことの大切さを改めて学びました。
- ・ 今の家族のあり方、勉強になりました。私の今現在の子ども、夫に対する接し方など、これで本当にいいのかな？と問いただすいい機会になりました。今、家族の中でうれしいこと、悲しいこと、悩み事、とにかく何でも話するように心がけています。自分では少しは他の家に比べると、会話は多いんじゃないかなと思っています。でも、もっと、一つ一つのことに対して話をし、何でも話せるように努力していきたいなあと感じました。
- ・ 子どもを信じて、あなたは変われるんだという気持ちをもって接していきたいと思います。我が子の育ちの中でも、かなり、ひどい母であったのかと反省しています。母（私）も、息子も、変われると信じて変わっていきたいです。
- ・ 「幸せな人は暴力をふるわない！！」「人はだれも生まれたときは同じ」「人はだれでも変わる」「見守り、聴く立場の人は親の悪口を言わない」「一番力の弱い子が発言できる場をつくる・もつ」 今日お聞きしたことで心に残ったことの一部です。一つでも実行できることを、今から行っていこうと思いました。ありがとうございました。
- ・ とても実体験に基づいたお話で、説得力があってよかったです。精神科医、カウンセラー等の講演会も聞いてきましたが、どうもよくわからなく、むしろ反感を覚えていましたので、先生のお話に、そうだ！と共感しました。本日はありがとうございました。
- ・ 自分の家族のこと、自分が学校でしてきたことを思い浮かべながら聴かせてもらいました。「人は変わることができる」。これは、私自身思ってきましたが、藤木先生のように迫りきれずに来た道のりでした。これから、一步一步、「人は変わることができる」ことを信じて人とつながりを深めていきたいと切に思いました。
- ・ 「一番弱い人が自分の意見・思いを言える環境をつくる」。家庭でも、友人関係でも、学校でも、一番大切なことですよね。「何があっても見捨てへんでー！」と胸を張って言える親になりたいものです。